

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもの広場 桑名 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	資格支援者が多数いることにより、専門的なアドバイスや支援をしている。	専門職の療育会議を実施し、利用者の成長発達を促していく。	家庭でも出来る療育を行って頂くことで、自立に向けた支援を行っていきます。
2	個別療育、こたまま講座、臨床美術など療育に関するプログラムが充実している。	利用者の自立に向け、取り組みできることが増えていくよう支援をしていく。	支援者研修を実施し、専門的知識を深めていき、有効的な支援をしていきます。
3	経験豊富な支援者が常在しており、きめ細やかな療育支援を行っている。	利用者の特性を踏まえて友好的な支援を行っている。	支援者同士で意見交換や教材発表などを行い、更なる支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育園や児童館、地域の児童との交流が少ない。	地域の児童との関わりを深める機会や活動が少ない。	小集団療育(すてっぷ教室)を通して、同年代や未就学の利用者さんと一緒に活動に参加し、交流できるようにしている。
2	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)や家族で参加できる研修が少ない。	日時の設定を行う事が難しい。	保護者向けのオンライン研修のお知らせを案内するなどしている。
3	父母会がない。	保護者の方々の居住地の違いや仕事をされている方も多いため、公平な日時を定めることが難しい。	母子(父子)での小集団活動を事業所にて展開している。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもの広場 桑名 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 9日		2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育、臨床美術、ことだま講座等、幅広いニーズに対応している。	保護者のニーズ、利用者の困り感に寄り添い、提案している。	引き続き提供していく。
2	集団活動、小集団活動、戸外活動、室内活動のプログラム、季節のイベントが充実している。	運動遊びや戸外活動、製作や習字、調理活動等、5領域を意識したプログラムを展開している。	今後も継続して様々な活動を提供していきたい。
3	利用者一人一人に対する個別的な支援	日頃から利用者によく関わり見守ることで、一人一人にどんな支援が必要かを検討し、共有し合い、会議等で話し合いを重ねた上で支援に落とし込んでいる。	個別のニーズに合わせた絵カードの作成や、視覚的な支援などを引き続き行い、支援の専門性を高めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関が狭く混雑している。	賃貸であり、建物の構造上立ち話がしにくい。	その時々状況に応じて本日の様子をお伝えする場所を車の方へ少し移動する等、混雑しないよう工夫していきます。じっくり話をされたい場合など、ご希望があれば時間や場所を調整していきます。
2	職員間の情報共有ができていない。	発生時、当日もしくは翌日に全職員に共有しているが、休日等により共有できていない。	毎日の朝礼や会議等、その都度必要に応じて情報共有を行っています。
3	駐車場のスペースが狭い。	賃貸であり、建物の構造上駐車スペースが限られている。	送迎時間が重なる時間帯には利用者の乗降方法も工夫し、社用車の移動をしてスペースを空けていきます。